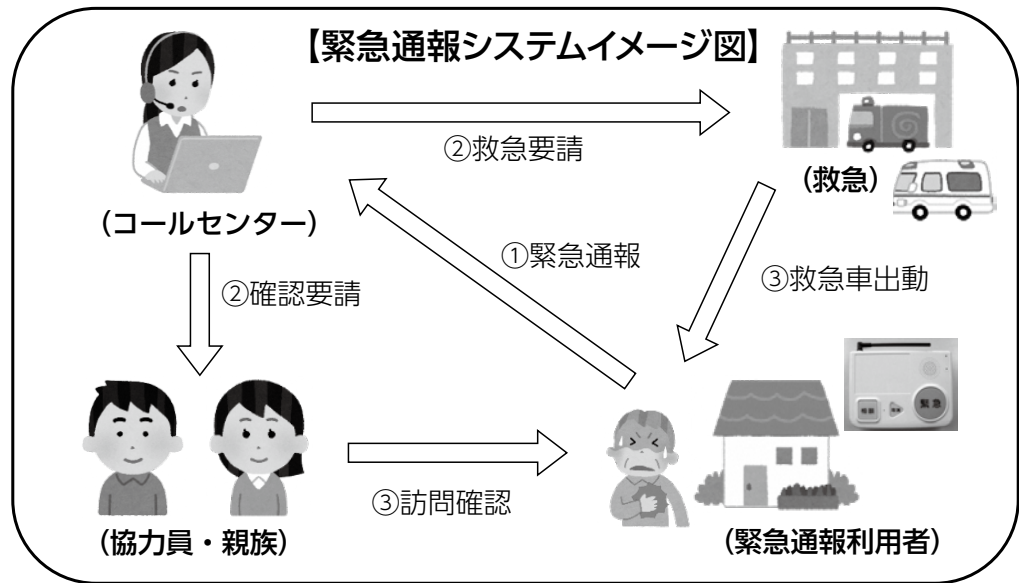


不安を抱える高齢者や家族の人へ
“緊急通報システム”をご利用ください
介護高齢課高齢者支援室（☎75-8935）

ホームページ

一人暮らしの高齢者などに緊急通報装置などを貸与して、自宅での急病や火災などの緊急時に、電話回線によりコールセンターと直接つながる救護体制作りを支援しています。



対象者

- ・一人暮らしの高齢者世帯または高齢者のみの世帯
- ・一人暮らしの重度障がい者世帯または重度障がい者のみの世帯
- ・高齢者と重度障がい者のみの世帯

※重度障がい者…身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級の人

利用料金

利用者の身体状況などにより、利用料金が決まります。

申請・問い合わせ先

介護高齢課高齢者支援室または各支所地域振興課地域福祉室

【貸与する機器やサービス内容】

貸与する機器		サービス内容
緊急通報装置	本体装置（※1） （固定電話回線用または携帯電話回線用） 	緊急ボタンを押すと24時間対応のコールセンターにつながります。状況に応じてコールセンターから家族や協力員（※2）に連絡したり、救急車を要請します。また、相談ボタンを押すと健康上の相談などもできます。
	ペンダント型装置 	緊急ボタンがついた防水機能付き「ペンダント型」の装置で、お風呂や家の中の離れた場所でも使用できます。
安否センサー （居間や寝室、玄関などに設置） 		赤外線による人感センサーで利用者の動きを感知し、一定時間利用者に動きがない場合には、自動でコールセンターに通報します。
火災警報器 （寝室など1カ所に設置） 		煙を感知すると警報音と同時に自動でコールセンターに通報します。

※1 固定電話と携帯電話の両方をお持ちの場合、原則、固定電話回線用の本体装置を使用します

※2 協力員は、緊急時に対応できる近所の人や親族などで申請時に2人以上登録する必要があります

歯の健康シリーズ②
若い世代からはじめる歯周病予防
歯保健医療課健康サポート室（☎53-3364）

11月は「にいがた健口文化推進月間」です。

今回は、若い世代に発症しやすい「^{しんしゅうせいししゅうえん}侵襲性歯周炎」について、村上市岩船郡歯科医師会長 ^{さとうかくえい}佐藤鶴英先生に執筆していただきました。

1. 侵襲性歯周炎とは

歯周病の一つである侵襲性歯周炎は10代から30代の若い世代に発症するのが特徴です。プラーク（歯の汚れ）の量に関係なく、歯を支える歯槽骨が急速に破壊されてしまいます。進行が速いうえに、通常の歯周病より少ないプラークでも重症になりやすいことも特徴の一つです。発症には特異的な細菌感染や免疫応答、遺伝的要因が強く関与していると考えられ、家族内で発症しやすい傾向があります。

また、侵襲性歯周炎のタイプは2種類に分けられます。上顎から下顎まで全体的に症状が現れる広範型侵襲性歯周炎、そして前歯と6歳臼歯ともよばれる第一大臼歯付近に症状が現れる限局型侵襲性歯周炎があります。

2. 治療法

侵襲性歯周炎の治療も、普通の歯周病と同じく、プラークコントロール（歯みがき）が主体となります。しかし、普通の歯周病とは違い、急速に歯周ポケットが深くなり、歯槽骨吸収を起こすことから、早期の治療アプローチが必要です。基本的な歯周病の治療だけでなく、外科的処置や薬物による抗菌療法をなるべく早く開始しないと、若くして多くの歯を失う可能性があります。

3. まとめ

侵襲性歯周炎は、若いうちから発病する歯周炎です。少しでも早く治療に取りかからないと、若いうちに歯をたくさん失ってしまう可能性があります。早期発見するためにも、お子さんのうちから、定期的な健診を受けることが大切です。



村上市岩船郡歯科医師会
会長
^{さとう かくえい}
佐藤 鶴英 先生

市の現状

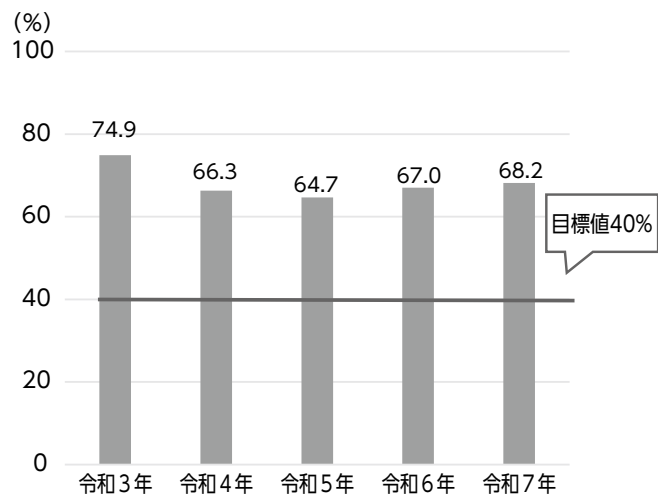
20～30歳代で歯肉に炎症所見を有する人の割合は6～7割を推移しており、市の目標値である40%には達していない状況です。

成人歯科健診を受診しましょう

今年度対象となる人（令和8年度に20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になる人）には7月に受診券を送付しています。令和9年2月末まで受診することができますので、この機会にぜひ受診してください。



20～30歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合（％）



成人・妊婦歯科健診結果より